

◎秋冬季の病害虫防除について

今年、梅雨明け後にも雨の日が多く、また盆の時期には大雨、10月頭には台風の接近と天候に悩まされた年だったのでではないでしょうか。11月以降の天候の予報（長期予報 10月1日時点）としては、11月から12月にかけては平年通り晴れの日が多く、雨は少ないとの予報が出ておりますが、秋冬野菜が本格的に収穫期を迎える前に、作付けの多いネギとホウレンソウの病害虫とその防除について見直していきたいと思えます。

■ネギの病害

病害は降雨後などの多湿の条件で発生しやすくなります。降雨以外でも夜間のモヤや霧が発生の原因になりますので、注意しましょう。

う。降雨前には予防効果のある薬剤を、降雨後には治療効果のある薬剤を使用しましょう。
ネギの主要病害に効果のある薬剤は左の表のとおりです。

対象病害	薬剤名	使用時期	備考
べと病	ダイナモ顆粒水和剤	収穫3日前	予防・治療
	プロポーズ顆粒水和剤	収穫14日前	予防・治療
	リドミルゴールドMZ	収穫30日前	予防・治療
黒斑病	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫7日前	予防・治療
	ロブラール水和剤	収穫14日前	予防・治療
黒斑・さび	オンリーワンフロアブル	収穫14日前	予防・治療
べと・さび病・葉枯	アミスター20 フロアブル	収穫3日前	予防・治療
	メジャーフロアブル	収穫前日	予防・治療

※プロポーズはダコニール、リドミルはジマンダイセンと同成分を含む使用回数注意

■ホウレンソウの病害虫
・べと病

べと病は、糸状菌（かび）による病害です。葉に単黄色の病斑が現れ、葉裏には灰色のカビが発生します。下位葉に症状が出やすいです。

最適感染温度は8〜18℃である。肥料切れや草勢の衰えた時に発生が多くなります。窒素過多でも発生が助長されますので注意が必要です。秋まき栽培では、晩秋の生育後期になってからの発生が多いので注意しましょう。

カビの胞子は風などによって作物体に付着・伝染する為、風よけとして寒冷紗などを使用することも効果的です。

被害株をそのまますき込んでしまうと土壌中の病原菌密度が増える事になりますので、被害残渣は外に持ち出して処分するようにして下さい。



べと病 葉表の病斑



べと病 葉裏の病斑

薬剤としては、予防の効果のあるランマンフロアブル、予防と治療の効果のあるフェステイバル水和剤やアリエッティ水和剤、レーバフロアブルが効果的です。

・ホウレンソウケナガコナダニ
主に施設栽培で問題になっています。概ね平均気温が 20℃以下になる秋から春にかけて土壌中で増殖します。乾燥しやすい場所で発生が多くなると言われており、生息密度は露地では少なく、施設内で多い傾向ですが、露地でも連作や施設内での未熟な有機物（もみ殻等）の施用により発生が増加します。被害株を放置すると、発生が著しく助長されます。



ホウレンソウケナガコナダニの被害株

ホウレンソウケナガコナダニはダニの仲間ではありませんが、農作物を加害するダニとして有名なハダニ類とは全く違った性質を持つ

ています。まず、気門という呼吸器官がないので、サファイールなどの気門封鎖剤などの殺ダニ剤の効果が低いです。また、通常土壌中や土壌に投入されている有機質資材中に生息しているため、薬剤がかりづらく、防除が難しいです。



ホウレンソウケナガコナダニの成虫

防除のポイントとしては、家畜糞堆肥等の未熟有機物の土壌への投入を控えることです。どうしても使用する場合には、できるだけ腐熟程度の進んだ堆肥を利用するようにしましょう。

薬剤散布は、播種前にフォース粒剤、2葉期と4〜6葉期にはアフーム乳剤やカスケード乳剤を

使用することをお勧めします。また、播種時〜2葉期まで使用できる誘引剤『コテツベイト』という薬剤が登場しました。食毒作用のある農薬で、使用方法も土壌全面散布で混和の必要がなく手軽です。規格は2kgで使用量は10アールあたり3〜6kgです。薬剤ローテーションの1つにいかがでしょうか。



※農薬使用上の注意

農薬を使用する際は容器などに記載されたラベルの内容に従って正しく使用しましょう。農薬系統の使用回数に注意し、ローテーション防除を心がけましょう。

◎不要農薬処理について

10月の農家回覧にてご案内をいたしました不要農薬処理が、来月12月に行われます。（事前にお申し込みのない場合の持ち込みは一

切受け付けることができません。10月25日に申込を締め切っております。）

不要農薬の持ち込みにあたり、空容器を持ち込む際には、缶・ビン・プラスチック・紙袋など、使いかけの不要農薬では一般農薬・特殊農薬・P O P s系農薬・水銀系農薬など、それぞれ区別のできるように持ち込んでいただけますので、ご協力をお願いいたします。

【不要農薬処理に関するお問合せ先】

- 経済センター
松戸市馬橋 1939-1
047-341-5151
- 流山経済センター
流山市野々下 1-304
04-7150-2255